

各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 部 課 御中
附属学校を置く各国公立大学法人事務局

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

「子供のまわりには危険がいっぱい」及び「学生のみなさんへ 薬物のこと
大麻のこと誤解してると危険です！」の配布について

標記啓発読本の配布について、令和 5 年 1 月 12 日付けで、厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課から別紙 1 及び別紙 2 のとおり依頼がありました。

ついては、本啓発読本が厚生労働省から令和 5 年 2 月 7 日までに送付される予定ですので、貴職及び学校の意向や実情を踏まえ、必要に応じて御活用いただきますようお願いいたします。

なお、啓発読本の内容や部数に関することは、厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課に直接お問い合わせください。

記

1 「子供のまわりには危険がいっぱい」について

厚生労働省から、以下の宛先に対して管下の小学校及び特別支援学校小学部分が送付されます。

- ・各都道府県・指定都市・市区町村教育委員会学校保健主管課
- ・各都道府県私立学校主管部課
- ・附属小学校を置く各国立大学法人事務局

2 「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」について

厚生労働省から、各高等学校及び特別支援学校高等部に直接送付されます。

3 啓発読本の内容や部数に関する問合せ先

厚生労働省 医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課 啓発担当係
電話 03-5253-1111（内線 2796）

（本件担当）

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課保健管理係
TEL：03-6734-2976（直通）
FAX：03-6734-3794

事 務 連 絡
令和 5 年 1 月 1 2 日

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課

「子供のまわりには危険がいっぱい」の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきましては、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

我が国の薬物乱用の現状は、覚醒剤事犯の検挙人員が減少する一方、大麻リキッドや麻薬であるMDMAの押収量が増加しており、その背景にある違法薬物の乱用実態は非常に憂慮すべき状況にあります。とりわけ、令和3年の大麻事犯の検挙人員は5,783人と8年連続で増加し、過去最多を更新しており、「大麻乱用期」であるとも言える状況です。また、10代の大麻事犯の検挙人員が初めて1,000人になるなど、若年層における大麻乱用の拡大が懸念されています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、小学校6年生の保護者のための啓発読本「子供のまわりには危険がいっぱい 薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』～子供たちを薬物乱用から守るために～」を作成し、別添送付文書を添付の上、配布することといたしましたので、御承知いただきたく御連絡いたします。

つきましては、お手数ではありますが、各小学校において必要に応じて御活用いただくよう、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課等関係機関への周知方につき特段の御配慮をお願いいたします。

また、啓発読本の送付時期については、各都道府県教育委員会学校保健主管課、各指定都市・市区町村教育委員会学校保健主管課、各都道府県私立学校主管課及び附属小学校を置く各国立大学法人事務局に対して、令和5年2月7日までに、それぞれ送付する予定としております。

なお、各都道府県薬務主管課に対しても、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課等関係機関が各小学校へ冊子を配布する場合には、必要に応じて連携するよう依頼しております。

担 当	
厚生労働省	
医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課	
	啓発担当 北原
電 話	03-5253-1111(内線2796)
(夜間)	03-3595-2436)
F A X	03-3501-0034

事 務 連 絡
令 和 5 年 1 月 吉 日

各都道府県教育委員会学校保健主管課
各都道府県私立学校主管部課
附属小学校を置く各国立大学法人事務局

御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課

「子供のまわりには危険がいっぱい」の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきましては、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

我が国の薬物乱用の現状は、覚醒剤事犯の検挙人員が減少する一方、大麻リキッドや麻薬であるMDMAの押収量が増加しており、その背景にある違法薬物の乱用実態は非常に憂慮すべき状況にあります。とりわけ、令和3年の大麻事犯の検挙人員は5,783人と8年連続で増加し、過去最多を更新しており、「大麻乱用期」であるとも言える状況です。また、10代の大麻事犯の検挙人員が初めて1,000人になるなど、若年層における大麻乱用の拡大が懸念されています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、今般、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、小学校及び特別支援学校小学部6年生の保護者のための啓発読本「子供のまわりには危険がいっぱい 薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』～子供たちを薬物乱用から守るために。～」を作成いたしました。

つきましては、本趣旨を御了察の上、お手数ではありますが、各都道府県薬務主管課等と連携し、本冊子を管下の小学校及び特別支援学校小学部に御配布いただき、本年度の小学校及び特別支援学校小学部6年生の各家庭において有効に活用されますよう特段の御配慮をお願いいたします。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

連 絡 先

厚生労働省

医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課

啓発担当 北原

電話 03-5253-1111(内線2796)

(夜間 03-3595-2436)

FAX 03-3501-0034

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAXでご連絡いただきますようお願いいたします。

事 務 連 絡
令和 5 年 1 月 吉日

各指定都市・市区町村教育委員会学校保健主管課 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課

「子供のまわりには危険がいっぱい」の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきましては、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

我が国の薬物乱用の現状は、覚醒剤事犯の検挙人員が減少する一方、大麻リキッドや麻薬であるMDMAの押収量が増加しており、その背景にある違法薬物の乱用実態は非常に憂慮すべき状況にあります。とりわけ、令和3年の大麻事犯の検挙人員は5,783人と8年連続で増加し、過去最多を更新しており、「大麻乱用期」であるとも言える状況です。また、10代の大麻事犯の検挙人員が初めて1,000人になるなど、若年層における大麻乱用の拡大が懸念されています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、小学校及び特別支援学校小学部6年生の保護者のための啓発読本「子供のまわりには危険がいっぱい 薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』～子供たちを薬物乱用から守るために。～」を作成いたしました。

つきましては、本趣旨を御了察の上、お手数ではありますが、本冊子を管下の小学校及び特別支援学校小学部に御配布いただき、本年度の小学校及び特別支援学校小学部6年生の各家庭において有効に活用されますよう特段の御配慮をお願いいたします。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

連 絡 先
厚生労働省
医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課
啓発担当 北原

電話 03-5253-1111(内線2796)
(夜間 03-3595-2436)
FAX 03-3501-0034

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAXでご連絡いただきますようお願いいたします。

事 務 連 絡
令 和 5 年 1 月 吉 日

各小学校及び特別支援学校小学部 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課

「子供のまわりには危険がいっぱい」の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきましては、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

我が国の薬物乱用の現状は、覚醒剤事犯の検挙人員が減少する一方、大麻リキッドや麻薬であるMDMAの押収量が増加しており、その背景にある違法薬物の乱用実態は非常に憂慮すべき状況にあります。とりわけ、令和3年の大麻事犯の検挙人員は5,783人と8年連続で増加し、過去最多を更新しており、「大麻乱用期」であるとも言える状況です。また、10代の大麻事犯の検挙人員が初めて1,000人になるなど、若年層における大麻乱用の拡大が懸念されています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、小学校及び特別支援学校小学部6年生の保護者のための啓発読本「子供のまわりには危険がいっぱい 薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』～子供たちを薬物乱用から守るために。～」を作成いたしました。

つきましては、本趣旨を御了察の上、お手数ではありますが、必要に応じて本冊子を貴校の本年度の6年生の保護者に御配布いただき、各家庭において有効に活用されますよう特段の御配慮をお願いいたします。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

連 絡 先
厚生労働省
医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課
啓発担当 北原
電話 03-5253-1111(内線2796)
(夜間 03-3595-2436)
FAX 03-3501-0034

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAXでご連絡いただきますようお願いいたします。

事 務 連 絡
令和 5 年 1 月 1 2 日

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課

「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」
の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきまして、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

我が国の薬物乱用の現状は、覚醒剤事犯の検挙人員が減少する一方、大麻リキッドや麻薬であるMDMAの押収量が増加しており、その背景にある違法薬物の乱用実態は非常に憂慮すべき状況にあります。とりわけ、令和3年の大麻事犯の検挙人員は5,783人と8年連続で増加し、過去最多を更新しており、「大麻乱用期」であるとも言える状況です。また、10代の大麻事犯の検挙人員が初めて1,000人になるなど、若年層における大麻乱用の拡大が懸念されています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者のための啓発読本「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」を作成し、別添送付文書を添付の上、配布することといたしましたので、御承知いただきたく御連絡いたします。

つきましては、お手数ではありますが、各高等学校及び特別支援学校高等部において、必要に応じて御活用いただくよう、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課等関係機関への周知方につき特段の御配慮をお願いいたします。

なお、啓発読本の送付時期については、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課、各都道府県私立学校主管部課、附属高等学校を置く各国公立大学法人事務局、各高等学校及び特別支援学校高等部に対して、令和5年2月7日までに、それぞれ送付する予定としております。

担 当	
厚生労働省	
医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課	
	啓発担当 北原
電話	03-5253-1111(内線2796)
(夜間)	03-3595-2436)
F A X	03-3501-0034

事 務 連 絡
令和 5 年 1 月 吉日

〔 各都道府県・指定都市教育委員会学校保健主管課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 部 課
附属高等学校を置く各国公立大学法人事務局 〕 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課

「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと 誤解してると危険です！」
の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきまして、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

我が国の薬物乱用の現状は、覚醒剤事犯の検挙人員が減少する一方、大麻リキッドや麻薬であるMDMAの押収量が増加しており、その背景にある違法薬物の乱用実態は非常に憂慮すべき状況にあります。とりわけ、令和3年の大麻事犯の検挙人員は5,783人と8年連続で増加し、過去最多を更新しており、「大麻乱用期」であるとも言える状況です。また、10代の大麻事犯の検挙人員が初めて1,000人になるなど、若年層における大麻乱用の拡大が懸念されています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、今般、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者のための啓発読本「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」を作成いたしました。

つきましては、当方より各高等学校及び特別支援学校高等部に対して、令和5年2月7日までに啓発読本を送付し、必要に応じて卒業予定者に配布していただくよう依頼いたしますので、貴職におかれましては本趣旨を御了察の上、管下の各高等学校及び特別支援学校高等部への周知方につき特段の御配慮をお願いいたします。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

連 絡 先

厚生労働省

医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課

啓発担当 北原

電話 03-5253-1111(内線2796)

(夜間 03-3595-2436)

F A X 03-3501-0034

※学校の移転・部数の不足につきましては、FAXでご連絡いただきますようお願いいたします。

事 務 連 絡
令和 5 年 1 月 吉日

各高等学校及び特別支援学校高等部 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課

「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」
の配布について

薬物乱用防止啓発活動の推進につきまして、日頃から特段の御配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

我が国の薬物乱用の現状は、覚醒剤事犯の検挙人員が減少する一方、麻薬であるMDMAや大麻リキッドの押収量が増加しており、その背景にある違法薬物の乱用実態は非常に憂慮すべき状況にあります。とりわけ、令和3年の大麻事犯の検挙人員は5,783人と8年連続で増加し、過去最多を更新しており、「大麻乱用期」であるとも言える状況です。また、10代の大麻事犯の検挙人員が初めて1,000人になるなど、若年層における大麻乱用の拡大が懸念されています。薬物乱用を未然に防止するためには、早い時期から薬物乱用の危険性について、正しい知識を身に付けることが非常に重要です。

このような状況を踏まえ、厚生労働省におきましては、文部科学省の協力を得て、高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者のための啓発読本「学生のみなさんへ 薬物のこと大麻のこと誤解してると危険です！」を作成いたしました。

つきましては、本趣旨を御了察の上、お手数ではありますが、必要に応じて貴校の卒業予定者に御配布いただき、啓発読本として御活用いただければ幸いに存じます。

また、御不明な点等ございましたら、下記連絡先まで御連絡をお願いいたします。

連 絡 先

厚生労働省

医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課

啓発担当 北原

電話 03-5253-1111(内線 2796)

(夜間 03-3595-2436)

FAX 03-3501-0034

※移転・部数の不足につきましては、FAXでご連絡いただけますと幸いです。